

4 保健医療

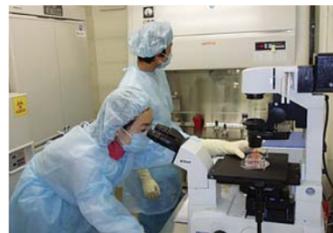
日本のODAは、ハノイ市のバックマイ病院の施設・機材の整備とともに、医師、看護師等の人材育成を支援し、ハノイ市や北部地域を含めた保健医療サービスの改善に貢献しています。

同じく、国立小児病院や国立産婦人科病院においても、医療機器の改善を支援しています。

また、国立衛生疫学研究所(NIHE)においては、高度安全性実験室の整備と合わせ、日本人材育成を支援し、ハノイ市や北部地域を含めた保健医療サービスの改善に貢献しています。NIHEは鳥インフルエンザ等の病原菌検査に活躍し、ベトナムの感染症対策に貢献しています。



バックマイ病院



国立衛生疫学研究所

ハノイ市における日本の主なODA事業

有償資金協力(円借款)	金額 (百万円)	年度
① ハノイ水環境改善(第1期、第2期)	47.860	1994, 1997, 2008
② ハノイ市交通網整備	12.510	1998
③ ハノイ市インフラ整備	11.433	1996
④ タインチ橋(紅河橋)(I)~(IV)(環状3号線アクセス道路を含む)	40.989	1999 - 2005
⑤ ニャタン橋(日越友好橋)(I)	13.698	2005
⑥ ハノイ市環状3号線(I)	28.069	2007
⑦ ハノイ市都市鉄道(1号線)(詳細設計)	4.683	2007
⑧ ハノイ市都市鉄道(2号線)(I)	14.688	2008
⑨ 国道5号線(I)~(III)	20.961	2003 - 2005
⑩ 国道18号線(I)(II)	23.449	1997, 1999
⑪ 国道3号線(I)	12.469	2004
⑫ ノイバイ国際空港第二旅客ターミナルビル(I)	12.607	2009
⑬ ノイバイ国際空港~ニャタン橋間 高速道路(I)	6.546	2009
- ホアラックハイテクパーク・インフラ(詳細設計)	1.005	2009
無償資金協力	金額 (百万円)	年度
⑭ バックマイ病院・機材	6.038	1998
- ハノイ市廃棄物管理機材	896	2002
⑮ 国立小児病院機材	314	2003
- 麻疹ワクチン製造施設	2.141	2003
⑯ 国立衛生疫学研究所(NIHE)高度安全性実験室	891	2006
⑰ 国立産婦人科病院機材	461	2009

ハノイ市における日本のODA事業地図



JICAベトナム事務所

16th Fl., Daeha Business Center, 360 Kim Ma Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam

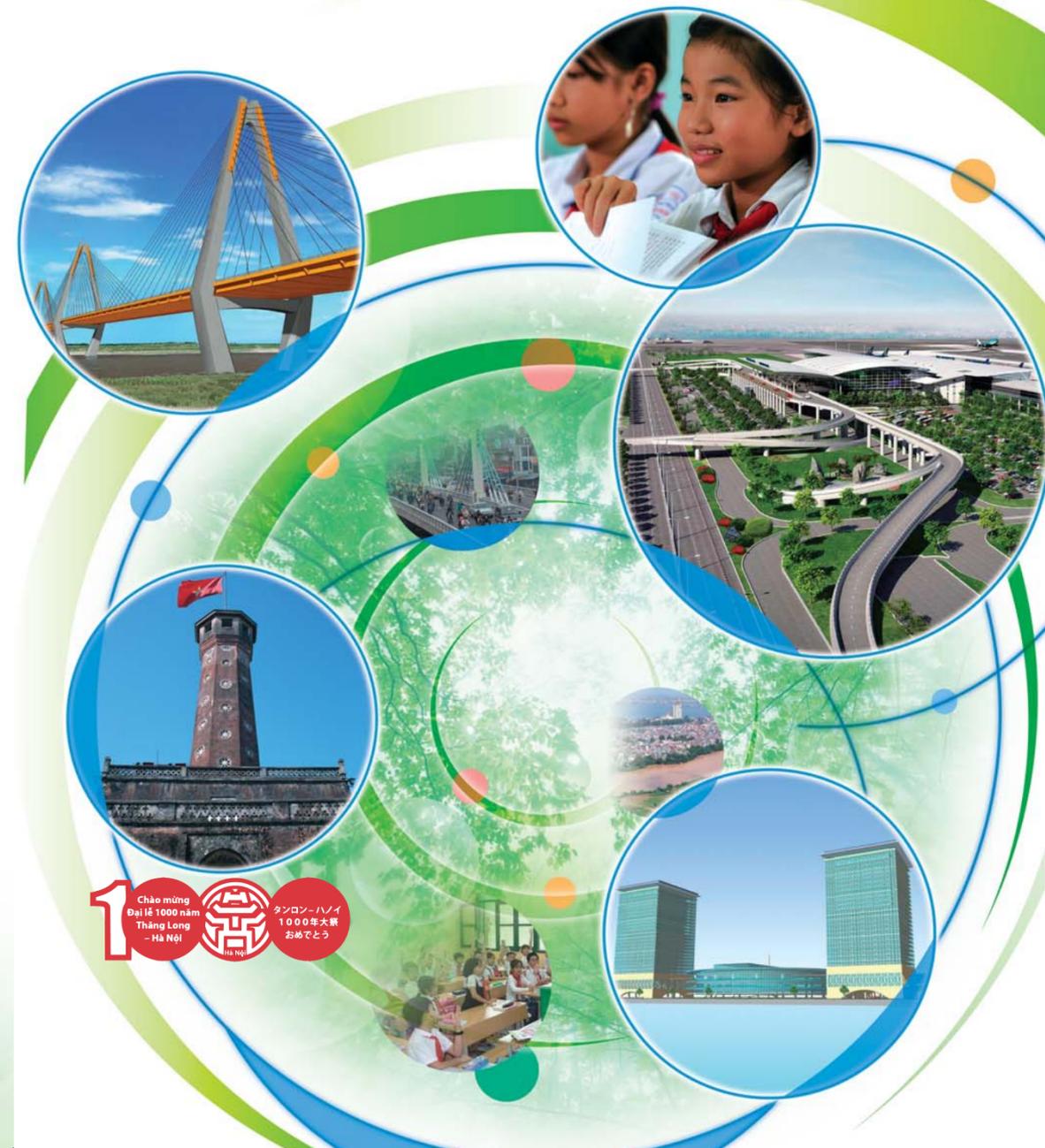
Tel: (84-4) 3831 5005~8 Fax: (84-4) 3831 5009

<http://www.jica.go.jp/vietnam/index/html>

発行:2010年10月



日本のODA ハノイの発展のために



1 Chào mừng Đại lễ 1000 năm Thăng Long - Hà Nội



タンロン-ハノイ 1000年大祭 おめでとう

日本のベトナムへのODAは、1992年に開始して以来、ハノイ市の発展を重点として位置付け、交通インフラの近代化、水環境の改善、産業開発および保健医療サービスの改善を中心に協力してきました。これらのODA事業には、多くの日本企業や日本人専門家が参加し、ハノイの発展と日越友好のため、日々努力しています。代表的な事業を以下にご紹介します。

1 都市交通インフラの近代化

国際ゲートウェイの整備

ハノイ建都1千年の2010年、日本が最初に調印したODA事業は、「ノイバイ空港新国際ターミナル建設事業」です。空港とハノイ市を結ぶ新しい高速道路も合わせて建設されます。この高速道路が紅河をわたる「ニャットン橋」(日越友好橋)も2009年から日本のODAにより工事が進んでいます。

ノイバイ空港新ターミナルを始めとするこれらの事業は、2014年には、ハノイ市の世界に向けた新しい国際ゲートウェイとなります。



ノイバイ国際空港新ターミナルビル



ニャットン橋(日越友好橋)

都市交通システムの近代化

日本はハノイ市の交通事情を改善するため、過去10年に亘り、市内幹線道路の拡幅・改良、交差点(ガートゥーソー、キムリエン等)の立体交差化や歩道橋の建設を支援しています。更に、現在、ハノイ市の都市鉄道と地下鉄の建設計画(都市鉄道1号線:イエンヴィエン〜ハノイ駅〜ゴックホイ、2号線:チャンアングアオ〜ナムロンビン〜ナムタンロン)への協力も開始しています。都市鉄道はハノイ市の交通システムを抜本的に改善し、交通渋滞の緩和と環境改善に貢献することが期待されます。



ガートゥーソーフライオーバー



都市鉄道1号線:新ハノイ駅

地域交通ネットワークの整備

日本のODAは、ハノイ市内の道路網とともに、ハノイと地方都市を結ぶ国道の改良を支援してきました。「国道5号線」(ハノイ〜ハイフォン)と「国道18号線」(ハノイ〜クアンニン)の拡幅・改良事業に続き、現在、「国道3号線」高速道路(ハノイ〜タイグエン)の建設が進んでいます。また、2007年に「タインチ橋(紅河橋)」が完成し、更にタインチ橋からハノイ市を周回してタンロン橋まで結ぶ「環状3号線」の建設も、日本の協力によって進められて



環状3号線インターチェンジ

2 環境改善

水環境改善

ハノイ市の「水と緑と文化」を重視した街づくりのため、水環境の改善は、交通インフラの近代化とともに重要な課題となっています。日本のODAは、1990年代半ばから、市内の湖や河川、排水路の改修、イエンソー排水ポンプ場、下水処理場の建設を支援してきました。

日本の環境技術を生かした協力によって、ハノイ市の洪水防止と環境改善を図っています。



ハノイ市水環境改善事業

います。これらの交通ネットワークは、沿線地域の工業団地や農業開発の基礎となり、ハノイ市を中心とする地域経済の発展に貢献しています。

交通安全の強化

日本は、交通インフラの改善とともに交通安全も重視し、ハノイ市においては、2006年から交差点や信号システムの改良、市民に対する啓蒙活動、交通警察官への指導等からなる技術協力を行っています。ハノイ市民の安全のため、日本の経験を踏まえた協力が役立つよう期待しています。



歩道橋

廃棄物処理

ハノイ市の環境改善のためには、廃棄物処理の近代化とともに、ゴミを減らす工夫も必要です。

日本は、ゴミの3R(減量(Reduce)、再利用(Reuse)、リサイクル(Recycle))に努力しており、その経験をベトナムに伝えるためハノイ市のモデル地区を対象にゴミの分別収集を支援しています。

学生ボランティアや市民グループと協力し



た啓蒙活動や環境教育にも取り組んでおり、今後、3Rがハノイ市全体に普及し、更にはベト



3Rイニシアティブ活性化支援

ナム全国に展開されることを目指しています。



3 産業開発

工業団地開発

日本のODAにより整備された国道5号線や18号線の沿線には、工業団地が次々に建設され、民間投資が進んでいます。ハノイ市においては、2000年に日本企業の投資により「タンロン工業団地」が完成しました。日本のODAは、工業団地のためのアクセス道路、給水・排水処理、送電等の建設を支援し、官民連携(Public Private Partnership)のモデルになっています。タンロン工業団地には多数の日本企業が入居し、約5万人の雇用を生み出し、ハノイ市の経済発展に大きく貢献しています。

産業人材育成



生産品質管理



ビジネスコース(VJCC)

日本はベトナムの産業人材育成を支援するため、外国貿易大学に「ベトナム日本人材協力センター(VJCC)®」を建設し、同センターを拠点として、日本の経営手法を学ぶビジネスコースや、日本語教育、文化交流事業等を支援して来ました。

また、ハノイ工科大学(IT教育)®およびハノイ工業大学(職業教育)®を対象として、教員の養成やカリキュラムの改善、日本企業との提携促進、日本への留学支援等、産業人材育成のため、総合的な協力を行っています。